

山形県中学校総合体育大会夏季大会 熱中症対応について

(軟式野球競技)

□会場 小真木原野球場・酒田光ヶ丘野球場

1 全体として実施すること

- (1) 近隣病院への緊急時の対応への依頼を行う。
- (2) 会場に養護教諭を配置し、体調不良者への応急処置ができる体制を整える。
- (3) 出場校に「熱中症事故防止について」の文書を配布し生徒への事前指導を行う。
- (4) 競技会場に、緊急用の氷、スポーツドリンク等を準備する。
- (5) 選手や役員の健康観察をこまめに行う。
- (6) 競技場の WBGT、温度、湿度を定期的に測定する。

2 状況に応じて競技ごと対応すること

- (1) 球場内に冷房の効く部屋を確保する。また、ダッグアウト内に扇風機を用意する。
- (2) WBGT 31℃以上または気温 35℃以上を指している間は、一時中止や日程の変更等、柔軟な対応を行う。またダブルゲームとなる決勝戦開始時刻についても、当日の気象を考慮して、特別規則にある 50 分以上の間の休憩時間をとることも検討する。
- (3) 1 イニング 20 分以上の攻撃時間を割いた場合には給水タイムをとる。
- (4) 試合開始時間を早めたり、暑さの厳しい時間帯を避けたりする等、時間の変更を検討する。
- (5) 競技役員や観戦者にもこまめな水分補給や着帽等を呼びかける。
- (6) 競技運営に大きな支障がないと判断された場合、予備日への順延を検討する。
- (7) 応援中でも直射日光を避ける待機場所へ誘導するなど制限を行う場合がある。

3 変更の連絡について

- (1) 事前に変更が予想される場合は、県中総体参加校に「競技上の注意」を配布し周知を図る。
- (2) 具体的な内容や詳細や緊急の変更は、監督会議で連絡し周知を図る。
- (3) 状況に応じて「山形県中学校体育連盟ホームページ」に掲載する。

<http://www.cyutairen.jp>